

東員第一中学校移転事業に関する説明会事項書

日時：令和4年8月21日（日）

午後1時30分から

場所：保健福祉センター ホール

1 開 会

2 挨 拶

3 事 項

(1) 東員第一中学校移転事業について

(2) 質疑応答

4 閉 会

東員第一中学校 移転事業 説明会

東員町教育委員会

令和4年8月21日(日)13:30～ 東員町保健福祉センター ホール

1

説明会の内容

- ①東員第一中学校の現状
～老朽化と建替えの必要性～
 - ②現在の場所から移転する必要性
 - ③今後のスケジュール
 - ④現時点における施設整備計画
 - ⑤質疑応答
- 30分程度
- 50分程度

2

①東員第一中学校の現状
～老朽化と建替えの必要性～

施設の老朽化

3

現在の東員第一中学校

建築年	昭和37年(築60年)
延床面積	校舎:5,636㎡ 体育館:1,536㎡
敷地面積	32,919㎡



4

現在の東員第一中学校



5

現在の東員第一中学校



6

②現在の場所から移転する必要性

- 1) 立地の偏在の解消
- 2) 公共施設群との統合性の強化

7

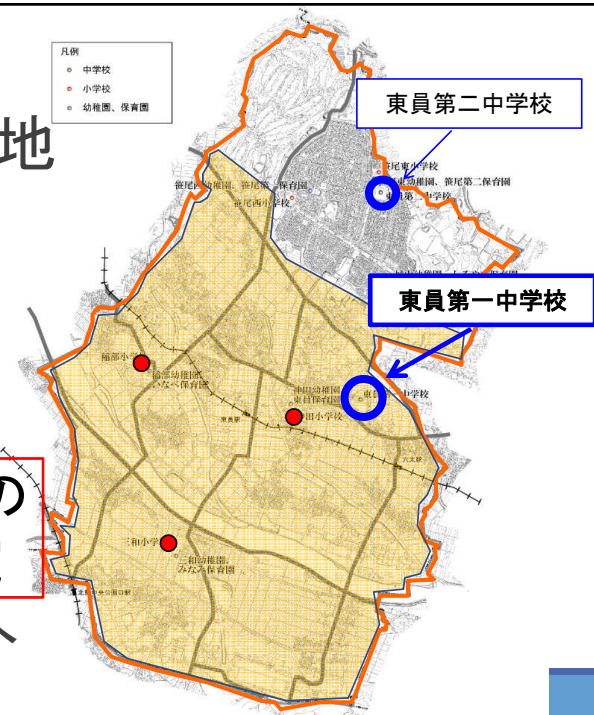
東員第一中学校の立地

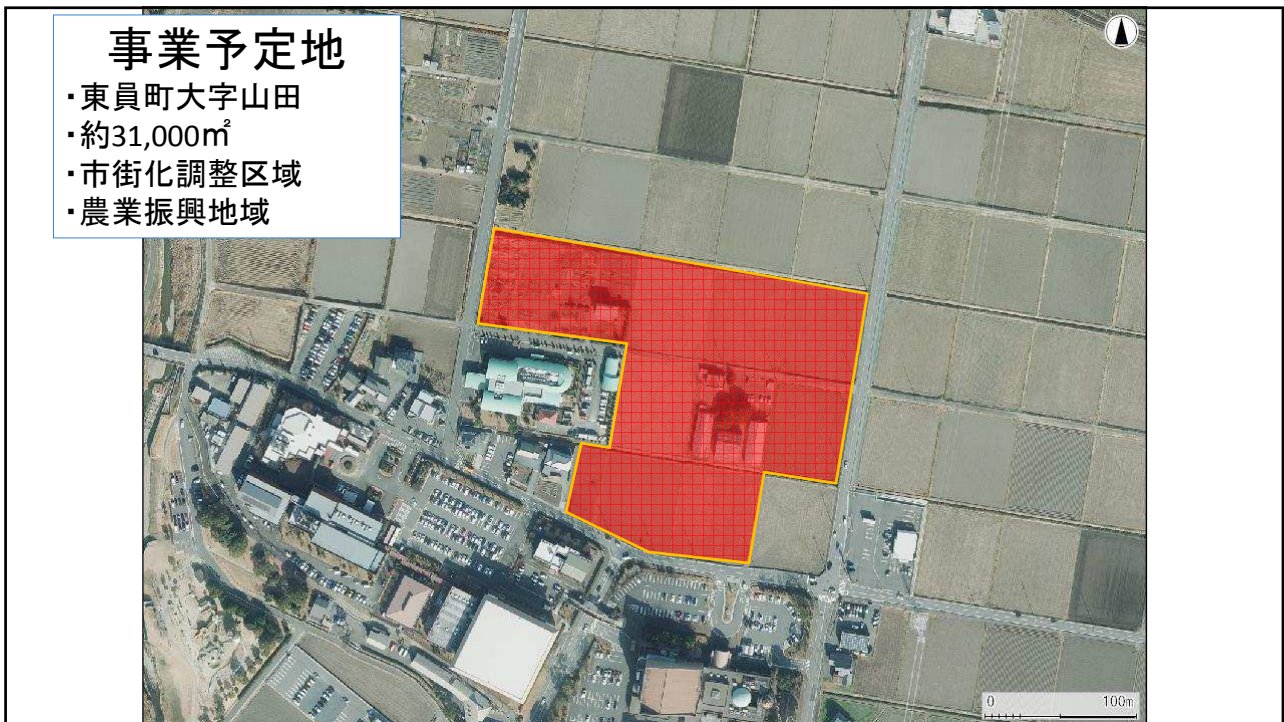
昭和23年9月：東員中学校開校

- ①神田中学校
- ②稲部中学校
- ③久米中学校
- ④七和中学校

桑名市寄りの
土地を選定

→昭和24年12月：現在の場所へ





適正な規模の学校の検討

- ・平成26年～27年
小中学校適正規模適正配置検討委員会による議論
- ・平成28年
「提言書」の作成
- ・平成29年
「東員町小中学校適正規模適正配置基本方針」

11

基本方針の概要 短期的視点

東員第一中学校について

- ・建替えは急務
- ・通学距離の均衡化を考慮し、
→町の中心部への移転が望ましい

12

基本方針の概要 中長期的視点

東員第二中学校について

- ・東員第二中学校区としての
存立基盤や心情、地域の活性化を考えると
統廃合は避けるべき

→統廃合をせずに移転する

13

子どもたちと東員町の未来のために

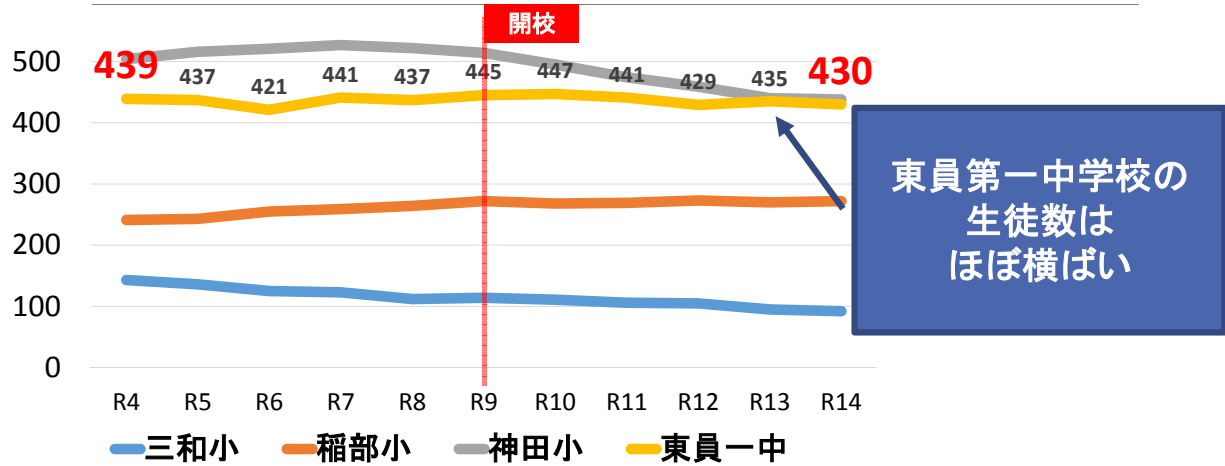
将来の学校規模の変化に対応しうる
適正な位置への移転が必要



50年後・100年後の東員町を考える
キックオフ事業

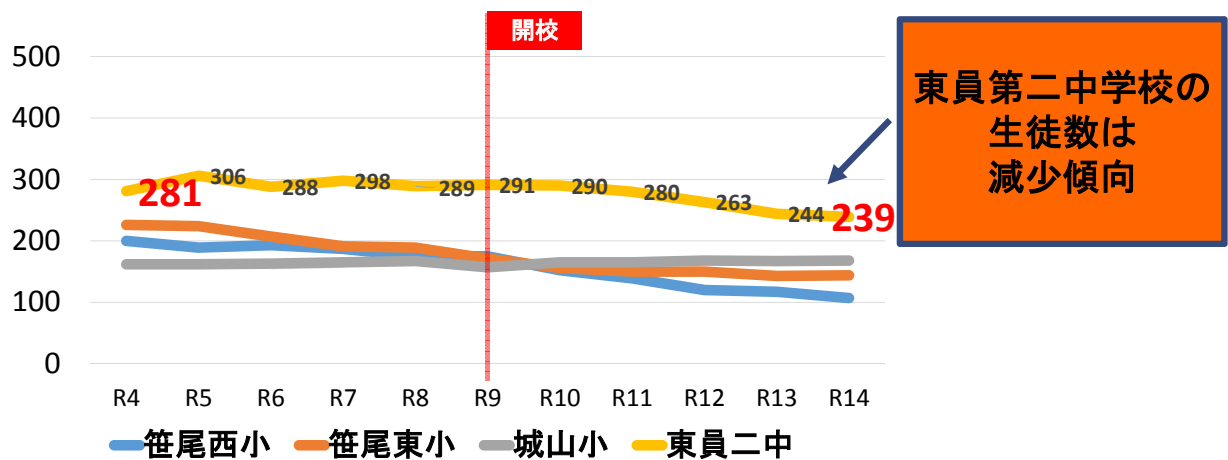
14

一中校区の生徒数の変化(今後10年間)



15

二中校区の生徒数の変化(今後10年間)



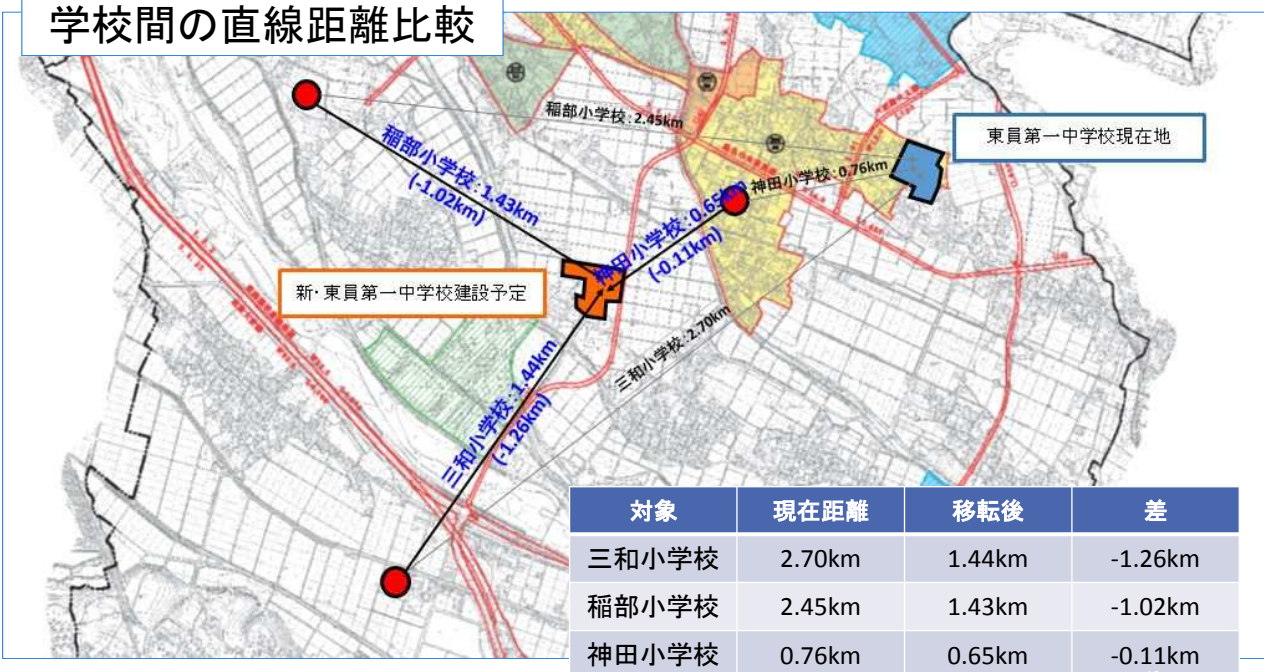
16

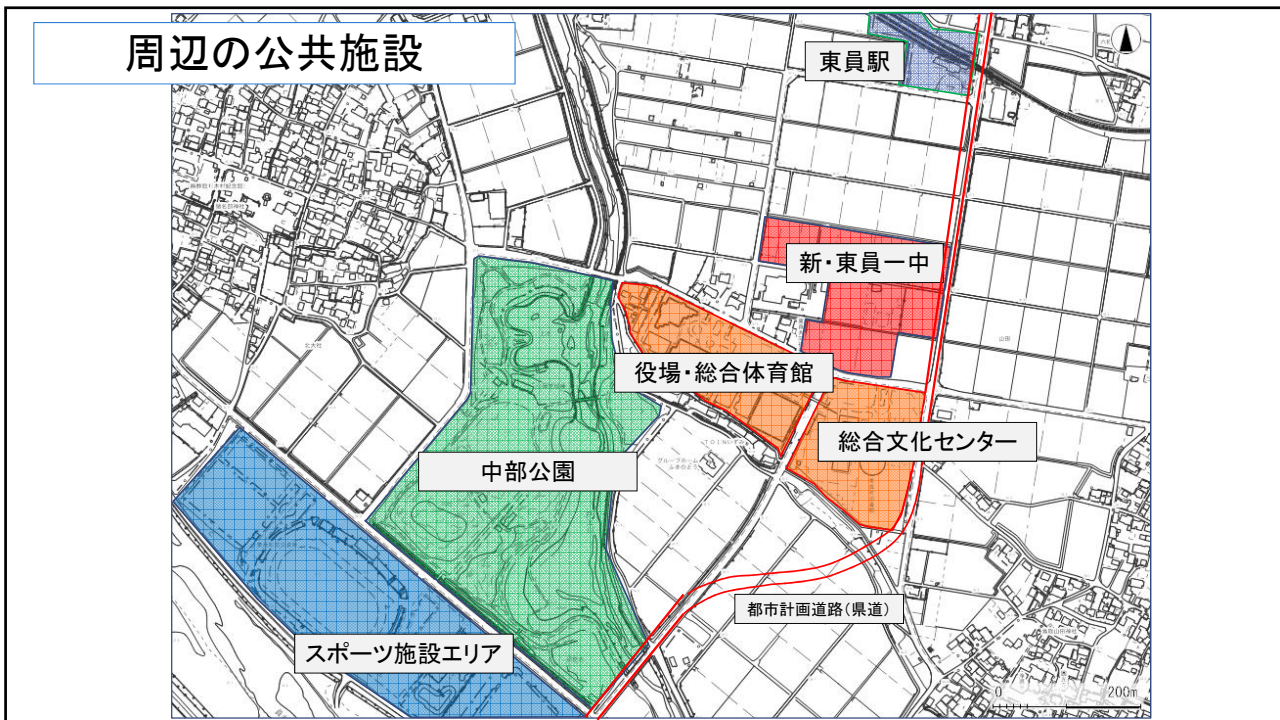
場所の選定理由

- ・各小中学校相互及び
公共施設群との連携を意識
- ・町内の交通網・人口分布に対応した
学校配置

17

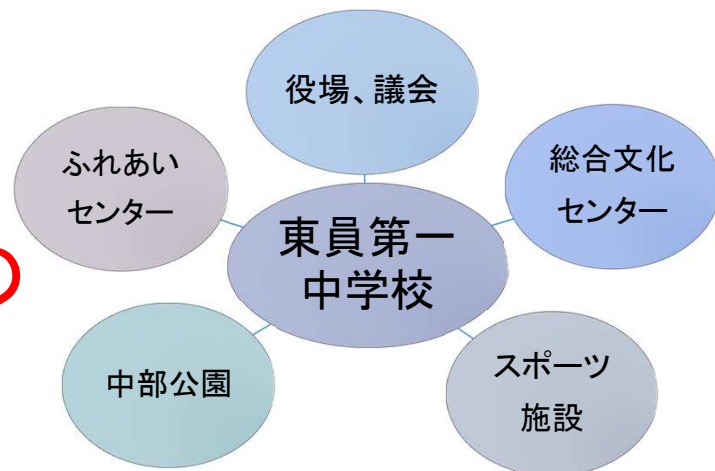
学校間の直線距離比較





既存公共施設の活用の検討

授業だけでは
経験できない
**プラスアルファの
学びを提供**



③今後のスケジュール

東員第一中学校建設事業スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
設計 監理	建設基本設計 造成基本設計	建設実施設計 造成実施設計		施工監理		
用地	境界確定	用地取得				新・東員第一中学校開校
埋蔵文化財調査	試掘調査	発掘調査	報告書作成			
建設工事			造成工事	建設工事	外構工事	
備品					備品搬入	

21

④現時点における施設整備計画

建設計画施設の予定規模

延床面積	校舎	約8,000㎡
	メディアセンター	約500㎡
	体育館	約1,500㎡
	附属建物	体育倉庫、屋外トイレ等
構造	校舎	鉄筋コンクリート造
	体育館	鉄骨造

22

概算事業費

区分	概算事業費(単位:千円)	備考
調査費(埋蔵文化財)	100,000	試掘調査費含む
用地費	400,000	登記費用含む
設計監理費	280,000	造成設計費含む
造成工事費	380,000	ガラス温室解体費含む
建設工事費	3,500,000	
外構工事費	200,000	
備品購入費	100,000	
合計	4,960,000	

23

設計案

「地域」「学び」「未来」をつなぐ 学びのきっかけにあふれた学び舎

東員町の新たな「学び舎」として、生徒・地域の全ての人々にとって、「学ぶこと」「知るごと」の喜びが生まれる場所であってほしい。
東員町16年一貫教育プランの仕上げを担う施設として、「地域」「学び」「未来」をつなぐ、地域の発展に貢献する新たな「学びの拠点」「交流拠点」をつくります。

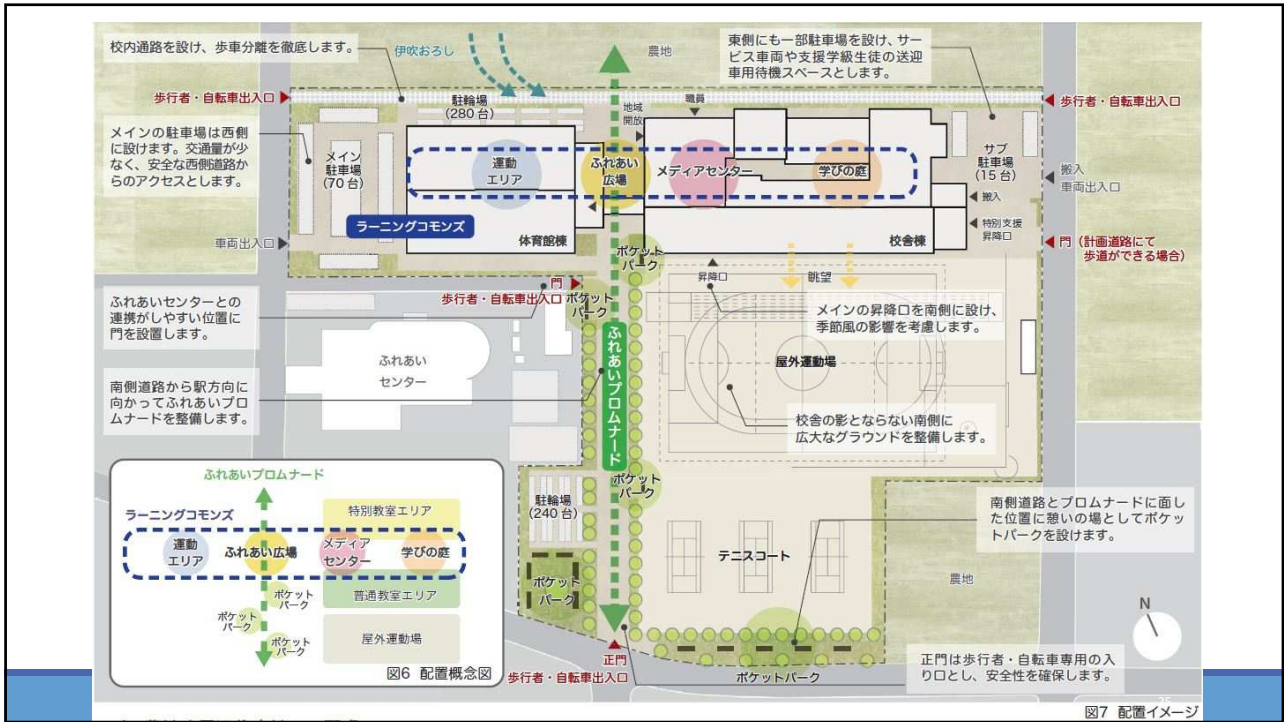


3つの設計方針

1. 地域とつなぐ ふれあいプロムナード
積極的に地域に開いた「まちとつながる学校」
2. 学びをつなぐ 全校舎をつなぐラーニングコモンズ
生徒の活動が校内に連続する「学びがつながる学校」
3. 未来へつなぐ 学びをきっかけに、未来の公民を育てる
東員町16年一貫教育プランを実現する「未来につながる学校」

図1 ふれあいプロムナードから見た校舎のイメージ

24



設計案

■ 住宅と学校の音環境に配慮した施設配置

- 校舎を北側に配置することで、南西の住宅地との距離を十分に確保します。学習環境・住環境のどちらにも良好な音環境を実現します。

■ 北側農地への日影と圧迫感を低減

- 農地に面した北側は2階建ての勾配屋根とすることで、農作物への日照を確保するとともに、圧迫感を軽減します。



図8 北側イメージ



図9 田植え時(日中)の日影イメージ

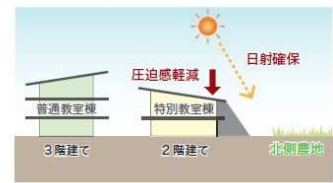
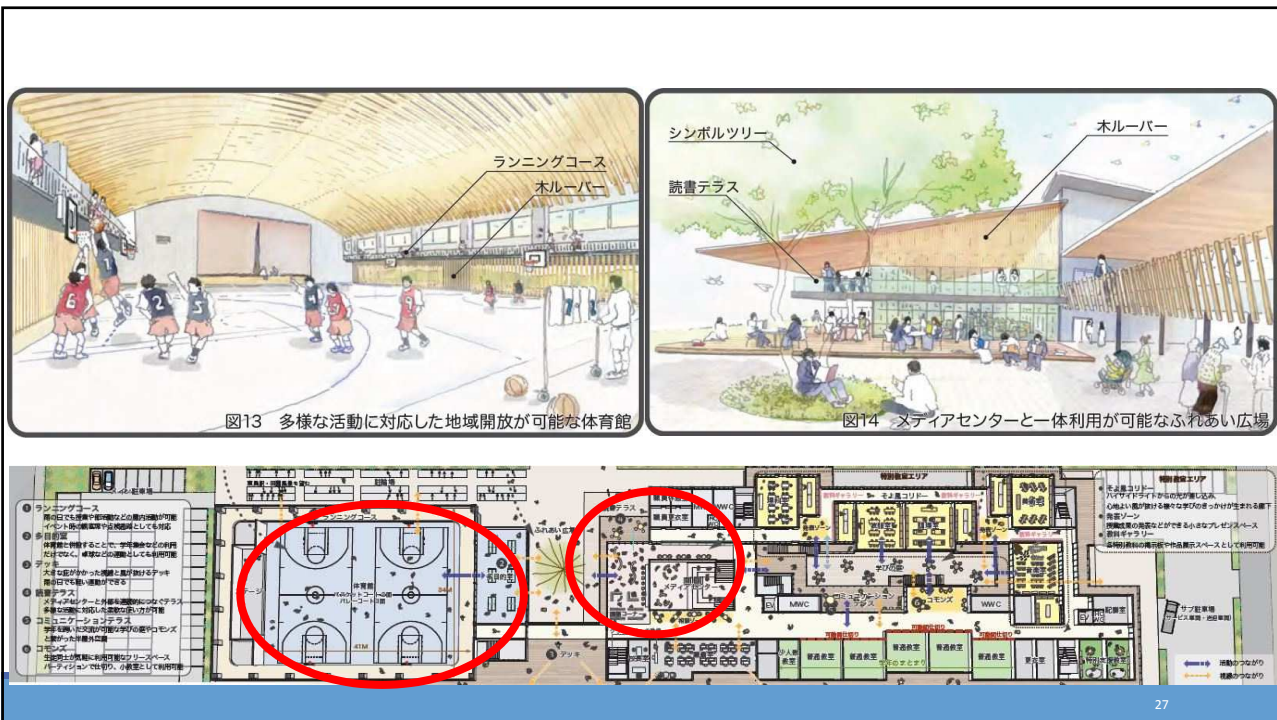


図10 北側農地への配慮・圧迫感軽減イメージ



まとめ

- ・施設の老朽化、立地の偏在解消が主な目的
- ・各小中学校相互及び公共施設群との連携を意識
- ・移転予定地は総合文化センター北側
- ・開校は令和9年4月
- ・建設工事は令和6年の秋頃から

ご清聴ありがとうございました